



校報

# 水糸者

No. 1299

元年度・第158号

## 子どもの確かな成長が伝わった参観日

学習参観日、学級懇談会の保護者アンケートの結果がまとまりました

2月4日（火）の第2回学習参観日とPTA講演会、学級懇談会には多くの保護者の皆様のご来校をいただきありがとうございました。

保護者の皆さんからいただいたアンケートには、私たちが今までめざして来た子どもの姿をたくさん発見していただき、そして褒めていただきました。

それは間違えても誰もバカにしない、安心して過ごせる親和的な学級の中で、どの子も一生懸命に学び、他の子どもと関わり合いながら理解を進めていく学習を通して、「わかる喜び」や「できる喜び」、「集う楽しさ」などが体感できる授業の中で生まれてくる子どもの姿に今回のアンケートでは保護者の皆さん全員が『肯定的な評価』をしてくれたのでしょうか。



充実したこの1年の成長を笑顔で喜び合う保護者の皆さんと種小っ子。

### …授業アンケート結果のお知らせ…

今回のアンケートは68人の方々からご協力をいただきました。

#### 1. 冬休み作品展について

- ・よかった ⇒ 63人 (92.6%)
- ・普通 ⇒ 5人 (7.4%)
- ・よくない ⇒ 0人 (0.0%)

#### 2. 子どもの様子について

- ・よかった ⇒ 67人 (98.5%)
- ・普通 ⇒ 1人 (1.5%)
- ・よくない ⇒ 0人 (0.0%)

#### 3. PTA講演会について

- ・よかった ⇒ 36人 (52.9%)
- ・普通 ⇒ 31人 (45.6%)
- ・よくない ⇒ 1人 (1.5%)

### 【保護者の皆さんからの、主な改善意見や要望など】

- ・平日は仕事もあり、休みもなかなか取得し難いところもあるので、できれば参観日と懇談会のみでの開催をご検討いただくと助かる。
- ・長縄グランプリが同じ日だと見に行き易かった。
- ・メディアに関する講演会はPTAが対象だったので、もう少し深い内容を期待していた。フィルタリングの例も、動画や移した写真などの利用の上で、私たちが知らない転送などが違法である事など、具体的かつ子ども達に注意しておいた方が良いサイトの例などあるとうれしかった。
- ・PTA講演会と学習懇談会の順番は逆の方が良いと思った。
- ・体育館が寒かった。



## …保護者の感想… (要旨)



普段の勉強風景を参観できるのも良いですが、今回のように子ども達がそれぞれに得意なものを表現したり、手紙を書いてくれたり成長した姿がうれしくもあり、まぶしくもありました。いつも見守り励ましてくださっている先生方に感謝いたします。

子ども達に主体性があってイキイキしていてとても良かったです。入学してからの1年で、できることが増え、先生方のご指導のおかげだと思った。これからもよろしく願います。参観中にももらった感謝の手紙を読んで、私も両親に感謝しなければいけないなど、教えてもらいました。

授業参観と聞くと、教室であまり笑いもなく硬いイメージを持っていましたが、子どもとの距離も近く、笑い合いながらとっても楽しい時間でした。成果を発表してくれて何度も失敗をしてもみんなで「がんばれ」と、声をかけていて、先生に応援しようと言われなくても、自然にそういうことができるって素敵だなあと、種小の先生方やそういう環境に感謝です。



「できるようになったこと発表会」では、自分たちの発表はもちろん、他のグループの発表も真剣に聞き、時には一生懸命に応援したり、面白おかしく盛り上げたり、クラスの仲の良さを感じた。みんながニコニコで生活しており、学校生活を楽しんでいる事が伝わって来た。長なわとびも1年生の時はあまりスムーズに行かなかったが、全員がわりとスッと出来ており、子どもの成長、努力の伸びはすごいと思った。最後のサプライズの感謝の手紙とパプリカのダンスは感動、感動でした。



作品の飾り方が、どの子の作品も見易く丁寧に飾られていて、頑張った子どもの事を思うと、立派に飾っていただいたのが嬉しかった。授業内容は、先生が楽しく学べるよう工夫してくださっている事が良く伝わり、子どもが嫌がる事もなく毎日学校に向かっているわけがよくわかりました。

子ども達が生き活きと楽しそうに発表していて見ていて楽しかった。先生の失敗を責めるのではなく、どうしたらより良くなるか考えるのか否定的な言葉でなく、こうした方がおもしろくなるんじゃないという言い方がいいよね、といった指導もこれからの人間関係の構築のため大切なので、ありがたいなあと思った。PTA講演会もいつものメディアについての話より具体的にわかりやすく良かった。

各系の発表は普段どのように学んだり、考え仕事をしているのかが想像できた。子ども達の普段通りの姿や笑顔がとても可愛らしかったです。PTA講演会のお話の最後はとても共感でき、素晴らしいなあと思ったし、未来を作っていく人たちが今の子どもであり、親がしっかり育てなければいけないと思った。講師先生は、人に影響を与えられる先生なのだと感じました。

本校児童のゲーム機など端末機器の使用実態については、校報などでも何度かお知らせしてきた通りであり、健全な成長を阻害する一因となると大変危惧していました。たくさんの保護者の皆さんが集まる機会にどうしても「メディア利用や実態」に関する講演会を開催したいと考え、今回開催したものです。

新たに疾病に位置付けられた「ゲーム障がい」で悩む子は都会の子だけではなく、地方の子も小学生も、自分や家族の意志だけでは止められないで困っている実態が急増しています。